

福王寺だより

今年もオホーツクは雪が少なく寒い日々でありました。ここ数年納骨堂の雪下ろしをしております、これが通常なのか異常なのか、わからなくなつて参りました。コロナウイルスも相変わらずと収まらずこれが通常になつてしまふと思ふと恐ろしくもあります。

春に向かつて、段々と良い環境になり、お互いが気軽に笑い会える世界になると良いですね。

鬼滅の刃にみる心

昨年は全世界で「鬼滅の刃」ブームが起こり、小さな子供までも真似をする社会現象となりました。数年前までは「オタク」の世界、または男子だけといわれそうな作品が老若男女問わずに受け入れられた事は驚きでした。

今「アニメ」や「漫画」は一つの文化としてきつと今後、小説なら「シエークスピア」、活動映画なら「チャップリン」、オペラやバレエ、これらのように文化として残つていくのだと思います。

そして文化が映し出すのは、一つには時代背景だと思ひます。

社 会 学 者 宮 台 司 氏
が、現 代 人 は 効 率 や 自 分 の た め だ け に 生 き て い



る鬼みたいな存在で、「こういう人間でありたい」とか「こんな風に生きるなら死んだほうがましだ！」なんていう信念や目標を見失つているのが今の私達なのだと思うと述べていました。

映画の中で、今回の主人公とも言えるキャラクターは、敵から「鬼なれ！」と誘われます。鬼になると不老不死のような存在になれるのです。しかしそれを頑なに断り、「自分はこういう人間として生きて死んでいくのだ」という信念のもと、死ぬ瞬間まで自分にできることを必死で成し遂げます。

その根底には「人を助ける」存在でありたいというテーゼがあり、死んでもそういう存在でありたいと貫く姿に憧れるのだと思うと分析していただきました。確かに自分なら、命大事に鬼になつてしまふかもしれません。

「貴方はどんな人間でありたいか」、そこを世界に問いているのかもしれない。

話は変わりますが、鬼といえは「ナマゲ」があります。東北で「悪い子はいねえか？」と訪ねて

くる鬼です。実はあの鬼はご先祖様だという説があります。「お前たちちゃんとやつているのか？」と訪ねて回る、きちんとしている家にはお土産もおいていくのです。お参りをするということ、は、もちろん故人の幸せを願うことだと思います。そしてもう一つ、今行つたように、「ちゃんとやつていてるのか？」とお父さんとお母さんが優しい言葉で言つてくださる。

その思いを受け止める事によつて、心新たに精進するキツカケとなり、私達の人生もより良い方向へ向かつていくのだと思ひます。

人が共に養う、春の彼岸には、そんなご先祖さまと向き合う時間となればと思ひます。



行事のご案内

「春彼岸会・正御影供」

三月二十日 午前十時 於

津別町福王寺

三月十七日

午後一時三十分

於 北見別院

「春のお彼岸」、「弘法大師正御影供」のお参りです。

お大師様、ご先祖様への感謝を込め、皆様の幸せを祈りましょう。

北見別院では、右記の日程、「彼岸入り」にお参り致します。ご都合で津別のお寺に来られない方は、北見別院にてお参りください。

維持費納入のお願い

毎年三月のお彼岸の案内とご一緒に、お寺の維持費のお願いをしております。

お寺の運営は、皆様の維持費、また会場の使用料によるものであります。

別紙の会計書の通り、皆様の維持費はお寺の運営の為に使わせて頂いております。納骨の管理費も含まれておりますので、ご理解を頂き、一万五千元以上、お納めいただきますようお願い申し上げます。

地方の方には振り込み用紙を同封させて頂いておりますので、協力頂けましたら幸いです。世話人さんがおりますところは、帳簿に会計書がついておりますので、ご確認ください。

寺院 活動報告

初大師 総代会

節分 星まつり ご祈禱

役員会

成年部総会

右皆様のおかげで無事執行致しました。感謝です。詳しくはHP <http://fukuoji.info/> を御覧ください！



お寺でデジタル教室

コロナの中で、札幌や地方へ行くことができず、テレビ電話での法事をすることも増えました。一人でお参りするよりも、遠くでも皆さんと一緒に拝める事は有り難い限りです。

しかし、なかなかスマートフォンやタブレットの操作になれないことも現実です、息子さんやお孫さんが一緒にお参りくだされば可能ですが、一人で設定するのは難しいかもしれません。しかし、ご希望があれば相談に乗りますのでお声がけください！

またコロナでどこにも出かけられずに、また子どもたちが帰省することも遠慮する時代で、テレビ電話などで簡単に人と繋がれるようにサポートできないか考えています。

何人かいれば、週一回とか決めて、お寺のデジタル部みたいなものを作って、「デジタルで遊ぼう！」という感じでやってみたいと思っています。

今後医療や、福祉も会えない状態が続く可能性もあり、地方はオンライン診療というものも出てくるかも知れません。抵抗はあると思いますが、慣れると面白いとも思っています。

もちろん、対面であつて話して一緒に過ごすことが一番良いと思いますが、是非チャレンジしてみたいかたはお声がけください！

